

# JR東海労なごや

2011年10月7日 No 872  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：山田哲也  
編集者：堀部肇

## 台風12号、15号による被害等について申し入れ

# 帰宅困難な社員へ会社は責任を持って対応を！

名古屋地本は、10月7日「台風12号、15号による被害及び発生した問題点について」申し入れを行いました。組合員の自宅や鉄道施設に大きな被害をもたらしました。台風15号においては長い時間運行が見合わせられ、帰宅困難な社員も多く発生しました。このような混乱と支障に関し早急に業務委員会を開催するよう申し入れを行いました。

### 帰宅困難者の対策は

帰宅困難な社員が多く発生した原因は、通勤時間に関係なく社員の移動を繰り返す会社の姿勢にあります。帰宅困難を裏返せば出勤も困難ということです。実際現場は、乗務員などの確保に四苦八苦していました。かつて乗務員は自宅に最も近い職場が当たり前でした。公共交通としての使命を考えなくてはなりません。

### 駅から避難の対策を

駅で長い時間止められた列車の旅客、乗務員にたいし食事の対応が不十分でした。今回、避難勧告がだされ旅客、乗務員が避難する事態も発生しました。

会社は危険が伴う移動はどう考えているのか明らかにせよ

# 会社はお客様・社員の安全や健康を第一に考えるべきだ！

